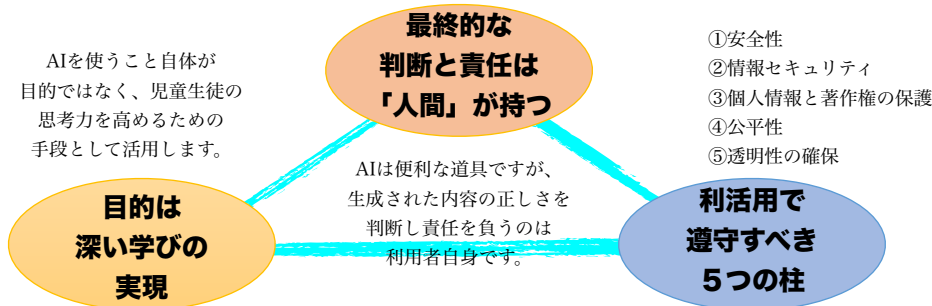


伊那市教育委員会は、AIの進化に対応し、子どもたちが自分の力で未来を切り拓けるようにすることを大切にしています。

生成AIは、学びを助ける便利な道具ですが、使い方を間違えないことが重要です。このガイドラインは、禁止や義務付けをするのではなく、柔軟に見直しながら、子どもたちがAIを正しく活用し、デジタル社会で主体的に生きる力を育てるための指針です。



基本原則と重要ポイント



【教職員】校務の効率化と教育の質の向上へ

教職員の役割：学びの専門職としてのAI活用

生成AIは、学びの専門職である教職員の能力を拡張するツールです。積極的に利活用することで、児童生徒の学びをより高度化し、働き方改革にも繋げていきます。

【遵守事項】

- ・市のサービスを利用する
- ・私用アカウント・端末は私用しない
- ・機密情報は入力しない
- ・個人情報を入力しない

専門職としての判断

- ・最終判断は自分で行う：AIの出力は参考の一つ。内容を取り入れるかは教職員自身が判断し、成果物に責任を持つこと。
- ・著作権法を遵守する：第35条の適用範囲を確認すること。



- ・管理職は運用を把握・確認する：適切な利活用がなされているか適時確認すること。
- ・成果と知見を共有する：利活用を通じて得られた成果は、積極的に教職員全体で共有していくこと。

【児童生徒】発達段階に応じた段階的な学び

児童生徒の学びのステップ

教師の指導のもと、「知る→使う→深める」のステップで安全に利活用を進めます。
これらのステップを往還しながら「日常使い」し、情報活用能力を高めていきます。

知る：生成AIの仕組みや特徴、利点・懸念点を学ぶ。
使う：基本的なプロンプト等を体験し、使い方に慣れる。
深める：各教科の学びの中で、思考力を高めるために積極的に、用いる。

児童生徒への最初の授業は「出前授業」も

児童生徒は先生の指導のもとで使います。慣れない先生のために「出前授業」も実施しています。希望される先生はセンターまでご相談ください。

出前授業などの概要については「ICT活用教材DB」でご確認ください。
ガイドラインに関する説明動画も収録されています。

こちらから

